

複合事業の委任審議結果について

平成26年12月16日

あなたに、ベスト・ウェイ。



複合事業の委任審議について

1. 複合事業の委任審議について

一般国道45号仙塩道路については、国土交通省東北地方整備局、一般国道468号首都圏中央連絡自動車道(五霞～つくば、つくば～大栄)の2区間については、国土交通省関東地方整備局との複合事業であり、事業については初期段階から関わっていないことから、『東日本高速道路株式会社事業評価委員会運営要領』により、東北地方整備局、関東地方整備局事業評価監視委員会に委任し、審議を行ってもらうもの。

東日本高速道路株式会社事業評価委員会運営要領第6条第1号

- 個別案件について、初期段階から関わっていない事業主体は、初期段階から関わっている事業主体の事業評価監視委員会に当該案件の審議を委任する。

2. 複合事業の委任審議対象事業について

番号	路線名	区間	区分	延長	所在地	事業者	会社 施行区分
1	一般国道45号 仙塩道路	仙台港北～利府中	一般国道	7.8km	宮城県	国土交通省 NEXCO東日本	舗装・施設
2	一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道	五霞～つくば	一般国道	40.0km	茨城県	国土交通省 NEXCO東日本	舗装・施設
3		つくば～大栄	一般国道	39.6km	茨城県 千葉県		舗装・施設

複合事業の委任審議について

(敬称略 五十音順)



3. 東北地方整備局 事業評価監視委員会 委員名簿

委員長	平山 健一	岩手大学名誉教授
委員長代理	遠藤 孝夫	東北学院大学 工学部 環境建設工学科 教授
委員	奥村 誠	東北大学 災害科学国際研究所 教授
	北林 真知子	株式会社テイケイマネージメント 取締役
	九戸 眞樹	弘前市教育委員会 委員長
	黒沢 高秀	福島大学 共生システム理工学類 教授
	河野 達仁	東北大学大学院 情報科学研究科 教授
	竹内 貴弘	八戸工業大学大学院 工学研究科 教授
	成田 由加里	成田由加里公認会計士事務所 代表 公認会計士
	浜岡 秀勝	秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授
	間庭 洋	仙台商工会議所 専務理事

4. 関東地方整備局 事業評価監視委員会 委員名簿

委員長	家田 仁	東京大学 大学院 工学系研究科 教授
委員	荒木 時雄	東京商工会議所 地域振興部長
	池邊このみ	千葉大学 大学院 園芸学研究科 教授
	大野 栄治	名城大学 都市情報学部 教授
	楓 千里	(株)JTBパブリッシング執行役員ソリューション事業本部 副本部長
	加藤 一誠	日本大学 経済学部 教授
	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学 工学部 建築工学科 教授
	佐々木 淳	東京大学 大学院 新領域創成科学研究科 教授
	清水 義彦	群馬大学 理工学研究院 教授
	鈴木 誠	東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科 教授
	堤 マサエ	山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 名誉教授
	若松 加寿江	関東学院大学 理工学部 教授

複合事業の委任審議結果について

5. 複合事業の委任審議結果について

①一般国道45号 仙塩道路

◇東北地方整備局 事業評価監視委員会(第2回)

日 時:平成26年10月31日(金)13:00~15:30

場 所:東北地方整備局 二日町庁舎(大会議室)

◇審議結果

都道府県	事業名	事業延長	再評価の理由	対応方針(原案)	審議結果
宮城県	一般国道45号 仙塩道路	7.8km	再評価実施後 3年間経過	事業継続	対応方針 (案)の とおり了承

複合事業の委任審議結果について



②一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(五霞～つくば、つくば～大栄)

◇関東地方整備局 事業評価監視委員会(第3回)

日 時:平成26年9月26日(金)13:30～15:30

場 所:さいたま新都心合同庁舎2号館 14階「災害対策本部室」

◇審議結果

都道府県	事業名	事業延長	再評価の理由	対応方針(原案)	審議結果
茨城県	一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道 (五霞～つくば)	40.0km	再評価実施後 3年間経過	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続 ・圏央道(五霞～つくば)は、ネットワークの形成、道路交通の円滑化、地域の活性化の支援の観点から事業の必要性・重要性が高く、全線4車線完成整備を図ることが適切である。 	対応方針(原案)のとおり了承
茨城県 千葉県	一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道 (つくば～大栄)	39.6km		<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続 ・圏央道(つくば～大栄)は、ネットワークの形成、道路交通の円滑化、地域の活性化の支援の観点から事業の必要性・重要性が高く、全線4車線完成整備を図ることが適切である。 	

委任審議対象事業の目的と計画の概要①

①一般国道45号 仙塩道路

<目的>

- 三陸沿岸道路の一部を形成し、経済、産業基盤を支える道路
- 仙台都市圏の自動車専用道路環状ネットワークを形成
- 交通混雑のボトルネック箇所の解消

<計画の概要>

区 間： 自)宮城県仙台市宮城野区中野
至)宮城県宮城郡利府町春日

延長(開通済):7.8km

幅 員:23.5m

道路規格:第1種第2級

設計速度:100km/h

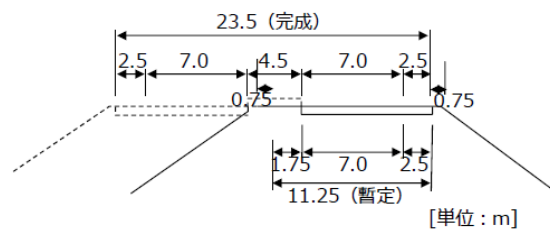
車 線 数:4車線

事 業 化:昭和57年度

事 業 費:838億円

H22センサス交通量:16,806~23,934台/日

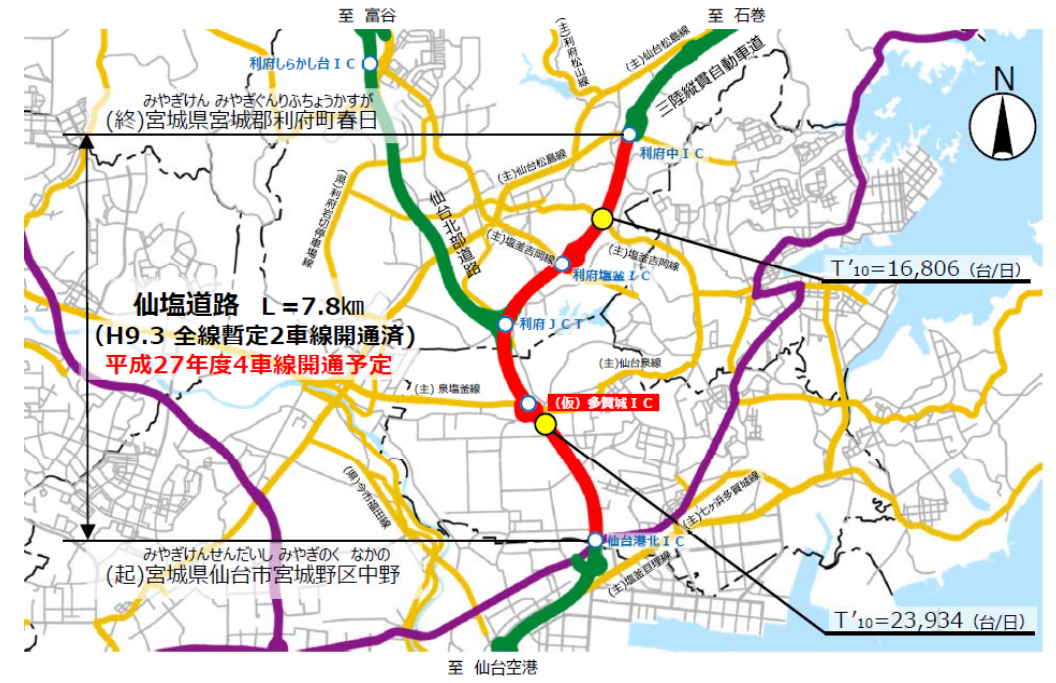
標準横断面図



位置図



凡 例	
—	: 開通済
...	: 事業中
その他道路	
— (Red)	: 評価対象区間
— (Green)	: 高規格幹線道路
— (Light Green)	: 地域高規格道路
— (Purple)	: 一般国道
— (Yellow)	: 主要地方道・県道
その他凡例	
● (Yellow)	: H22センサス交通量



委任審議対象事業の目的と計画の概要②

②一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(五霞～つくば)

<目的>

- ネットワークの形成
- 道路交通の交通円滑化
- 地域の活性化の支援

<計画の概要>

区 間: 自)茨城県猿島郡五霞町幸主
至)茨城県つくば市梶内

計画延長: 39.6km

幅 員: 23.5m

道路規格: 第1種第2級

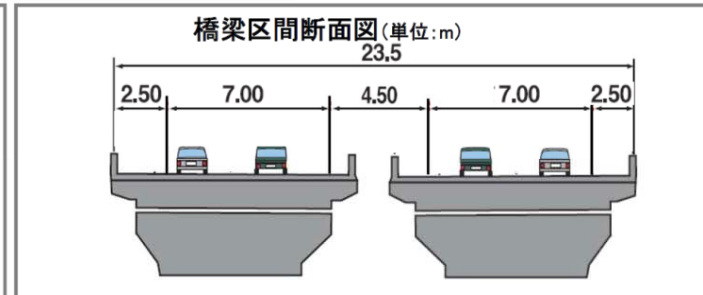
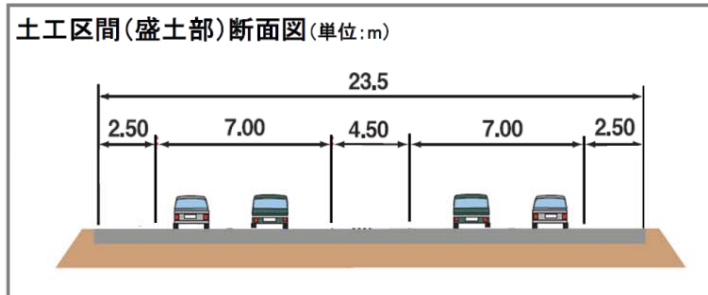
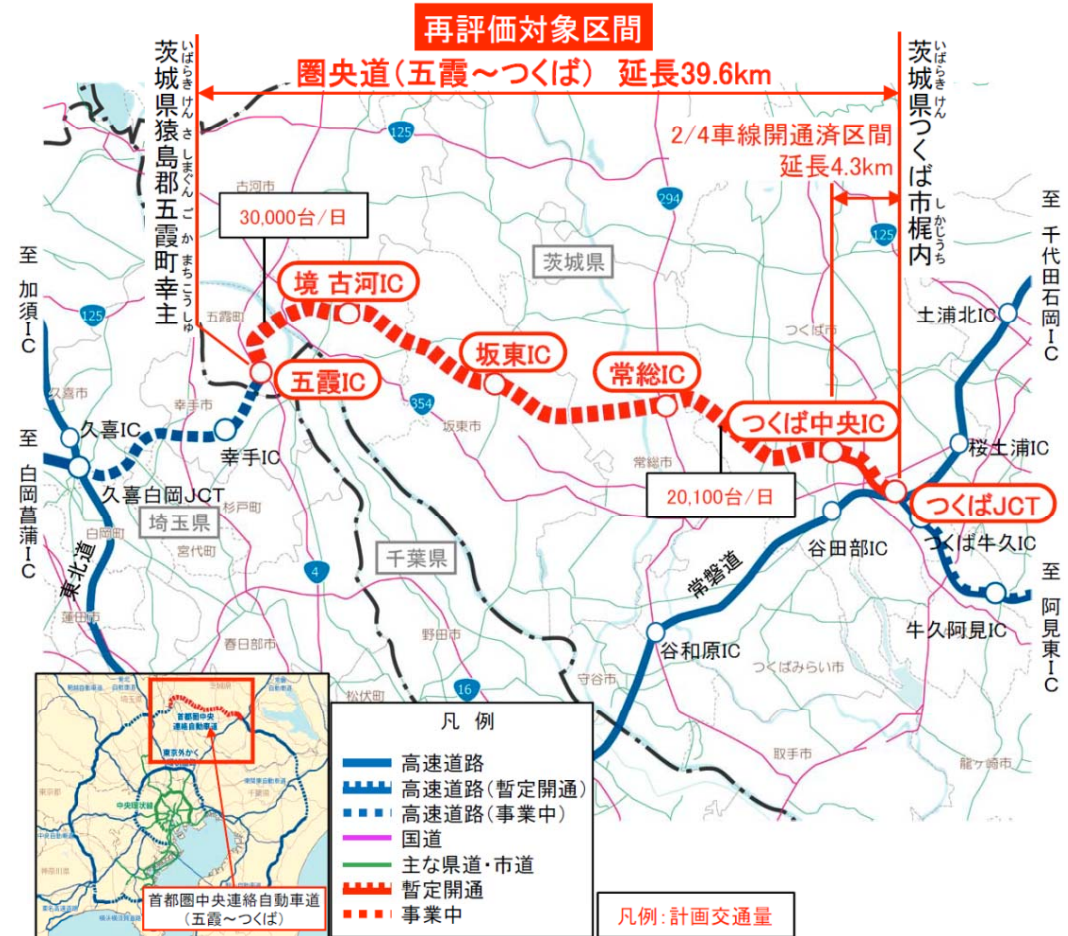
設計速度: 100km/h

車 線 数: 4車線

事 業 化: 平成6年度

事 業 費: 約2,634億円

計画交通量: 20,100~30,000台/日



委任審議対象事業の目的と計画の概要③

③一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(つくば～大栄)

<目的>

- ネットワークの形成
- 道路交通の交通円滑化
- 地域の活性化の支援

<計画の概要>

区 間: 自)茨城県つくば市梶内
至)千葉県成田市吉岡

計画延長:40.0km

幅 員:23.5m

道路規格:第1種第2級

設計速度:100km/h

車 線 数:4車線

事 業 化:平成3年度

事 業 費:約2,841億円

計画交通量:24,000～36,800台/日

